

# 調査・研修等計画届出書

令和 3年 6月 24日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三宅 聡



政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和 3年 7月 7日から 7月 8日まで (0泊2日)	
調査先・研修名	オンライン / 全国地方議会サミット	
会場名 (会場所在地)	東京都新宿区西早稲田 / 早稲田大学大隈記念講堂	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	<p>・受講動機 一昨年、全国地方議会サミットに初めて参加し、大変感銘を受けた。今回のテーマが「デジタルで議会が変革する」であると知り、まさに今一番取り組むべき課題であると思い、受講に至る。</p> <p>・研修テーマにおける瀬戸市の課題・自己の課題 既に市内の小中学校においてすべての児童生徒にタブレット端末が導入され、その活用方法が課題となっている。更に今後、市役所本庁舎においても Wi-Fi 環境が整備され同端末が導入されようとしているが、その大前提であるデジタル情報の管理についての課題も表面化してきた。</p>	
議長名の依頼	要・ <input checked="" type="radio"/> 不要	依頼先 (名称)
同行者名		

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和 3年 9月 30日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三宅 聡 

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

## 記

期 日	令和3年 7月 7日から 7月 8日まで（泊2日）
調査先・研修名	オンライン 全国地方議会サミット
会場名 (会場所在地)	東京都新宿区西早稲田 早稲田大学大隈記念講堂
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	<ul style="list-style-type: none"><li>・受講動機 一昨年、全国地方議会サミットに初めて参加し、大変感銘を受けた。今回のテーマが「デジタルで議会が変革する」であるを知り、まさに今一番取り組むべき課題であると思ひ、受講に至る。</li><li>・研修テーマにおける瀬戸市の課題、自己の課題 既に市内の小中学校においてすべての児童生徒にタブレット端末が導入され、その活用方法が課題となっている。 さらに今後、市役所本庁舎においても Wi-Fi 環境が整備され同端末が導入されようとしているが、その前提であるデジタル情報の管理についての課題も表面化してきた。</li></ul>

## 研修で学んだこと・キーワード等

- ・ 議会の議会による市民のための変革  
全国の自治体の議会基本条例の制定率が50%を超えた今、議会改革は「議会の議会による議会のための改革」から「議会の議会による市民のための変革」へとステップアップする環境が整った。市民からの情報をもとに市民とともに目標設定、調査・研究、政策立案・議案質疑、議決、執行監視、市民による評価（情報）という政策のPDCAサイクルをチーム議会で動かしていくことが大事。
- ・ チーム議会の構成要件  
会派を超えた議員間討議ができる文化があるかどうか。議員と議会事務局との間のフラットな関係性、協働意識の構築ができるかどうか。
- ・ 改革から変革へ  
デジタル化により議会は改革から変革の時代を迎えている。常に変革への意識を持つことが大事である。先例・習慣が果たして合理的であるのか、懐疑的な視点が必要である。
- ・ 地方は地方から変えていく  
多様性こそが議会の存在意義であり、行政との対立はある意味当たり前のこと。もめているのではなくそれが二元代表制。検証しつつ試行的に先ずはやってみることが大事、トライ&エラーである。
- ・ 議会のDXが進むとどうなるか  
議員でなくてもできる仕事が無くなり、議員でないとできない仕事が残る。例えば日常的にある市民と行政との橋渡し、仲介的な仕事はなくなる。多様な意見を聴き、議論し、判断を下す議決権という本質が残り、個々の議員の力量がより浮き彫りになり、その違いが議会力の差となっていく。

## 研修（受講後の感想）

I Tを利用した変革、I Tの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるのが本来のD Xである。しかしまずは議会のD Xを考えたとき、私に思い浮かんだのはタブレット導入によるオンラインとペーパーレスであった。

必要に応じての各種研修（当研修も）や打合せは日常的にオンラインで行われているが、先進事例で紹介のあったオンラインでの委員会開催は極めて挑戦的であると感じた。

また一方、ほとんどの書類がタブレット端末に格納され実現したペーパーレスであるが、これで2年以上使っている訳だが、未だに紙への未練が断ち切れず分厚い付属資料を購入したり、机の引き出しの中はコピー&ファイルで溢れかえっている。

議会D Xの入り口辺りでこの体である。パネルディスカッションで展開された意見の中で議会D Xが進んだ先の議員たちは間違いなく、議員力の差が明らかにされ、より厳しく選別されるという発言があった。

人々の生活をあらゆる面で良い方向に変えていくのがD Xの目的であります。国もデジタル庁を発足させ、デジタル化の勢いはいや増しています。私も個の力をしっかりと身につけながら、変革することを恐れず、これからは率先してD Xの推進をして参ります。

## 瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等

・議会D X、自治体D Xとは勿論、目的ではなく変革のための手段であります。それらがあらゆる面でよい方向に向かっているのかをしっかりと注視していくべきと思います。

そして児童生徒全員にタブレット端末が導入された小中学校D X、これは大変に期待しています。指導者不足がやや心配されますが、本格的なD X社会は今の子供たちの時代であります。

・自治体D Xを進めるうえで最も重要なのが膨大な個人情報の管理です。市民が場所や時を選ばずあらゆる面でよい方向に進めるサービスとはインターネットを駆使したサービスにほかなりません。新設のデジタル庁との慎重な連携が不可欠であります。

・議会D X推進のなかで「市民と行政との橋渡しの議員の役目は今後無くなる。」との発言があったが、ONとOFFがあるようにオンラインで伝えられないことは時代が変わっても議員がオフラインで丁寧に聴いていくことになるのではと思います。しっかりとD Xを学び、議員力をつけるとともに引き続き、「小さな声を聴く力」を大切にして参ります。